

元吉原地区まちづくりニュース 第2号



発行日：平成 28 年 10 月 11 日 発行：元吉原地区まちづくり計画検討会
(事務局：富士市役所都市計画課)

元吉原地区まちづくり計画検討会では、策定後まもなく 10 年を迎えようとしている「元吉原地区まちづくり計画」の改定作業を進めています。

元吉原地区まちづくりニュース 第2号では、7月22日(金)に開催された第3回検討会と、9月23日(金)に開催された第4回検討会(復興まちづくり訓練①)の内容について、皆さんにお知らせいたします。



◎第3回検討会を開催しました！

第3回検討会では、改定計画における「まちづくりの将来像」と「まちづくりの方針」について検討し、全員で共有しました。

—まちづくりの将来像(現行計画を踏襲)—

みんなでつくりたい 住みたい・訪れてみたい 魅力あるまち 元吉原

- まちづくりの方針 1)
○富士山・自然・水辺を守り・活かし“美しい四季が楽しめるまち”をつくる
- まちづくりの方針 2)
○古えの資産を掘り起し“歴史ロマンあふれるまち”をつくる
- まちづくりの方針 3)
○みんなにやさしい生活環境を整え“安全・安心で明るいまち”をつくる
- まちづくりの方針 4)
○利便性・快適性を高め“暮らしやすく訪れやすいまち”をつくる
- まちづくりの方針 5)
○地域の特性を活かしたイベント等を充実し“多くの出会いとふれあいのあるまち”をつくる
- まちづくりの方針 6) **NEW!!**
○地震や津波、大雨などへの備えを充実し“自然災害に強い安全・安心なまち”をつくる
→被害を最小限に食い止める減災まちづくり・防災意識の啓発、復興まちづくり体制の構築
- まちづくりの方針 7) **NEW!!**
○少子高齢化に対応した“子どもやお年寄りが安心して住み続けられるまち”をつくる
→子育て環境の充実、高齢者の生きがいづくりと「ハレ」の場づくり

第3回検討会の結果を受けて

第4回検討会では、新たなまちづくりの方針として追加された“自然災害に強い安全・安心なまち”をつくるための取組を検討するため、『復興まちづくり訓練』を実施しました。

◆『復興まちづくり訓練』とは…？

通常の防災訓練とは異なり、大規模災害によりまちが被災したことを前提として、自分達のまちが被災したら、どのような被害が発生し復興をどう進めるかについて、模擬体験するものです。

◆なぜ『復興まちづくり訓練』が必要なのか…？

ひとたび大規模災害が起きると、住民も行政も混乱するため、復興まちづくりについて十分話し合うことができなくなるおそれがあります。発災前から訓練を通して復興について考えておくことが、復興のスピードを速めることにつながるとともに、事前の防災まちづくりの意識が高まるなどの効果が期待されます。

◆常葉大学社会環境学部 池田教授より、「事前復興の必要性と復興まちづくり訓練」についてご講義いただきました。

第4回検討会において「復興まちづくり訓練」を行うにあたり、復興まちづくりの専門家である常葉大学社会環境学部の池田教授をお招きし、事前復興の必要性と復興まちづくり訓練について、ご講義いただきました。

講義では、平成7年の阪神・淡路大震災や平成23年の東日本大震災の事例等をご紹介いただき、復興まちづくりを円滑に進めるためには、発災前から準備を進めることが大切であることを伝えていただきました。



富士市では、大規模災害により都市が被災したとしても、迅速かつ着実に復興まちづくりを進めることができるよう、池田教授参画のもと、復興まちづくりの方向性や進め方などを定めた「富士市事前都市復興計画」を平成27年度に策定しています。

詳しくは、富士市オフィシャルウェブサイトをご覧ください。

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/machi/c1201/fmervo0000012vzc.html>

富士市事前都市復興計画

復興ビジョン編
・富士市の現状等
・復興まちづくりの課題
・復興まちづくりの基本理念
・復興まちづくりの目標及び基本方針

復興プロセス編
・復興まちづくりのながれ
・復興まちづくりの体制
・分野別の復興プロセス
・復興まちづくりへの意識向上の取組

◆第4回検討会(復興まちづくり訓練①)での検討成果について、池田教授にご講評いただきました。

第4回検討会の最後に、池田教授から今回の「復興まちづくり訓練」についてご講評をいただき、まちづくり計画における、「防災・復興まちづくり」の取組につながるヒントをいただきました。

○避難所に行かなくて済む防災対策の必要性

- 避難所が大混雑することにより、生活環境は過酷。
- 東日本大震災では、地区(集落)の空き家を避難所として活用したケースも。
- 避難所の運営は、地域が主体的に進める必要がある。



○仮設住宅の建設候補地を確保することの必要性

- 行政計画に基づく仮設住宅だけでは不十分。自宅からかなり離れた場所に建設されることも。
- 住民自らが建設候補地を探して、場合によっては地権者と調整を行っておくことも必要。

○復興まちづくりの重要性

- 自宅が倒壊すると、これを機に地区外に転出する住民も多くなる。
- 自宅の耐震化等で人も残り、まちも残る。そのためのハード整備などの事前防災対策も必要。

★住民の皆さんへ…

本検討会では、子どもや孫の世代のためにも、本地区がより良いまちとなるための協議・検討を進めてまいります。検討会や、計画改定に関するご質問やご意見等については、下記までお問い合わせください。

富士市役所 都市整備部 都市計画課

電話：55-2786 FAX：51-0475 Mail：toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp



◎第4回検討会(復興まちづくり訓練①)を行いました!

◆「災害リスクを踏まえ、「復興まちづくり」を事前に考えよう!」をテーマにワークショップを行いました。

第4回検討会では、「自然災害に強い安全・安心なまち」をつくる」が新たなまちづくりの方針として加わったことを受け、元吉原地区における災害リスクを踏まえつつ、復興に向けて事前に行っておくべきことを明らかにするためのワークショップを行いました。

①元吉原地区における被害想定について確認しました!

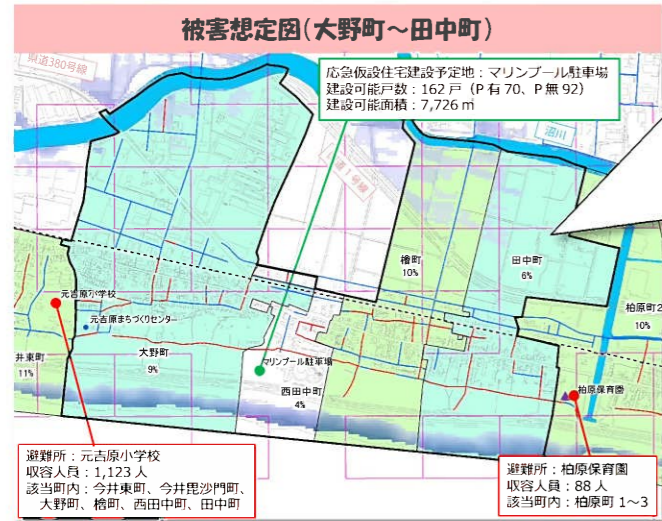


②被害想定を踏まえつつ、生活・住宅再建に向けて事前にやっておくべきことを考えました!



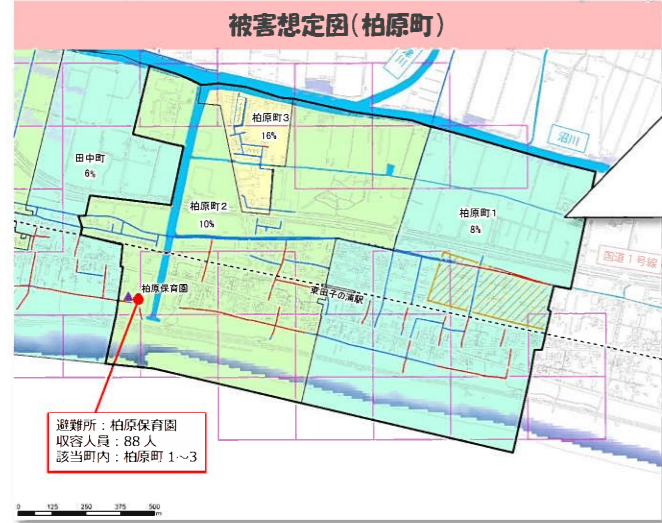
鈴川本町～今井東町の特徴

- 田子の浦港周辺では、津波浸水の可能性が高くなっています。
- 建物の倒壊危険度が高いエリアが存在します。
- 延焼危険度の高いエリアが存在します。
- 幅員 4.0m未滿の狭あい道路が多数存在しています。



大野町～田中町の特徴

- 沼川周辺では、津波浸水の可能性が高くなっています。
- 沼川～JR 東海道本線の広い範囲で、液状化の可能性が高くなっています。
- マリンプール駐車場が、応急仮設住宅の建設予定地として指定されています。
- 幅員 4.0m未滿の狭あい道路が多数存在しています。



柏原町の特徴

- 沼川周辺や、JR 東海道本線～海岸部までの広い範囲で、液状化の可能性が高くなっています。
- 延焼危険度の高いエリアが存在します。
- 幅員 4.0m未滿の狭あい道路が多数存在しています。
- 県道田子の浦港大野線・沼川周辺では、液状化の可能性が高くなっています。

| | | | |
|-------------|----------|------------|-------|
| ▲ 避難タワー | 河川 | 被害割合(建物倒壊) | 津波浸水深 |
| ● 避難所 | 延焼危険度5 | 1-4% | 0.00m |
| ○ 防災拠点 | 液状化可能性分布 | 5-9% | |
| ● 仮設住宅建設予定地 | 市道道路幅員 | 10-14% | |
| - - - 鉄道 | 0.2-3.9 | 15-19% | |
| — 鉄道駅 | 4.0-6.0 | 20%以上 | 4.79m |

自宅での生活 に関すること

<起こり得ること・判断が迫られること>

- 家族やご近所の安否確認ができない…
- 自宅が倒壊・焼失・浸水して生活できない…
- 停電・断水でトイレも冷暖房も使えない…
- 食糧や水がなく、スーパーも開いていない…

<事前にやっておくべきこと>

- 連絡先など安否確認の方法を決めておく
- 自宅の耐震診断・耐震化、防災グッズの準備
- 町内会で発電機や組み立て式トイレを準備
- 食糧・水・コンロなどを備えておく



避難所 に関すること

<起こり得ること・判断が迫られること>

- 避難所の場所や避難経路がわからない…
- 避難所生活に不安なこと、配慮してほしいことは?

<事前にやっておくべきこと>

- 避難場所までの通路の確認をしておく
- 地区集合場所まで安全なルートを確認しておく
- 避難訓練に参加する
- ブロック塀など、避難経路をふさぎそうなものをなくす
- 避難所でのプライバシーを確保するための方法を考える



仮設住宅 に関すること

<起こり得ること・判断が迫られること>

- 自宅に住めないなか、仮設住宅が建ち始めた…
- 仮設住宅はどのような場所に建設すべき?

<事前にやっておくべきこと>

- 仮設住宅への入居プロセスを確認しておく
- 各地区で仮設住宅建設地として利用できそうな場所を探し、地主と協議しておく
- 仮設住宅建設地として、マリンプール、今井公園、浜町公園、元吉原小学校、元吉原中学校、毘沙門天の空き地、ジヤトコ(地区外)などを検討しておく



復興まちづくり に関すること

<起こり得ること・判断が迫られること>

- 再度起こり得る災害に備えて、まち全体に求めたいことは?

<事前にやっておくべきこと>

- 住民の想定避難先を確認しておく
- 元吉原地区は沼川の橋が壊れると孤立→橋の対策とヘリポートの確保
- 道路を拡げておく
- 危険なブロック塀を撤去しておく
- まちづくりに関する意見を、町内会各組長に集約する体制を整備しておく

